

# No. 1014

## 柴田、王座を防衛

—世界J・ライト級選手権—

プロボクシング世界ジュニア・ライト級タイトルマッチ、チャンピオン柴田国明対挑戦者ビクター・エチェガレー（アルゼンチン）の15回戦は、6月19日東京・両国の日大講堂に1万2千の観衆をあつめて行なわれました。

エチェガレーが恵まれたリーチを利用して左ジャブをはなせば、柴田は単調な攻めをくりかえすばかりでなかなか自分のペースにもちこめません。たんとともりあがりのないままむかえた最終ラウンド、柴田の左右フックでバランスを失ったエチェガレーが二度ダウン。結局、このポイントが試合を決め、柴田は辛くもタイトルを防衛しました。

レフリー、ジャッジ3者とも柴田の勝ちと判定したものの、エチェガレーの善戦がめだつ一戦でした。

## ツチノコ騒動記

—和歌山—

頭に2つか3つの肉瘤があり、尾はマッチの軸のように小さく、胴が角ばった体長40センチの怪蛇、ツチノコ。

このところ自然界探検ブーム。

東京のあるデパートでは『ツチノコを生捕ったら20万円、死がい御持参の方には10万円、写真を撮った方には5万円をあげます』と懸賞をつけた。

ツチノコが住むといわれる和歌山県有田郡金屋町では6月17日、ツチノコを探そう、と、ツチノコを見かけたという地元の人の証言をもとに、町長さんを先頭にカヤの群生地をくぐった。

探検隊員は必死に付近のカヤ雑草の中を探したが収穫はマムシー匹。

『簡単に捕まらん方が夢があってええワ』と隊員たちは次回を約束。

果して幻の怪蛇ツチノコはいるのか。

過疎の町は時ならぬツチノコ旋風に包まれている。